夕刊 磐城新聞
七月五日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六十錢（郵税拾五錢）
廣告料金 普通欄金六拾錢 ……
磐城新聞 發行所 福島縣石城郡平町
（日曜祭日翌日休刊）

公開質問

舊城址 須藤生

四、家賃の公表

大家主に 二戸乃至六戸の貸家を有する小家主諸君より毎日の如く家賃の收入困難の嘆聲を聞く。腹が立つて怺られぬけれど行つて見ると憐れな状態を見て無言で歸るより外ないと實際に於て未拂家賃は一ヶ年乃至貳ヶ年位が普通にて最も好成績なるものにて六ヶ月位の滯納なる由無理ならず、全生活費の半額は家賃となる平町の現在の家賃相場なればなり

家主も困り借家人は尚困る現在の家賃を公正なる互に不快の思ひなさざる何人より見ても當然なりと思はるゝ新家賃を發表さるゝ御意志無きや、現在の平町本通り目拔き第一流の場所にて建家附土地の賣買價格は月六十圓位なり、場末は五圓より十圓位なり、此の價格により見る時家賃は全く暴利と云はざるを得ず。前の低金利時代に四割の利得は如何なるものにや、各位は平町の代表人たり各位の貸家賃は良心に問ふて正當なりと思はるゝや又値下の意志ありや、御回答を求む。

磐城新聞記者足下。尚數項に渉り申上度儀も有之候も稿を改めて申上ぐ可く貴下の御厚意に依り此の四項を發表下され此の難局打開の片鱗ともならば獨り小生のみの滿足には無之、町民大多數の幸福と存せられ候、何分御援助願候（平町欠食兒童の父より）

墨染櫻

逸名氏

櫻が岡と呼び名せる
若き日の我が學び家
彼の校庭に
墨染の櫻とて
いとも床しき一本の
古木ありけり
其の幹は
古色蒼然
古の彼の悲話を
秘めるに似たり
其の枝は
面伏せて古の
悲話を歎くに似たり
春四月
其の幹を圍めるは
絹の如 青き若草
心無き風の吹き來て
あはれにも
絲の如 白き花瓣を
地に徊ひ舞はす時
夢多き若き乙女等
悲しとてそをば泣きにき

朝に夕に
唄を吟む若き乙女は
先ず寄りぬ其の幹に
あわれそは
四月も半ば
風も無く白き花びら
雪の如
土に散り敷くとき
そを取りて唇にあてつつ
彼の人は語りにき
この悲し墨染の
いとも床しき戀物語りを

×

其の人は幹に寄りにき
きく我は膝に枕し
雪と降る
櫻花を浴びて
雙手をばしかと握りき
そはいとも
いとも悲しき物語なり
此の城に麗しの姫の居まして

その容姿
咲く花にも似たり
うるはしく氣高く
すぐれたる姫君なりき
ある年とある夕暮
行き暮れて佇める
旅を行く若き僧あり
その瞳
つかれたるとも
明星の光もげにや

たぐひなく美しき
僧にてありき
つと見たる姫の瞳に
消えやらぬ僧の面影
見上げたる僧が眼に
燒きつける花の顔
あゝ遂に
晝は夜となく
相想ふ二人となりき
さはあれど
世の掟冷たく
戀やまぬ戀の二人は
城に有る古き井戸にぞ
戀は果てにき
墨染の衣まとひ
彼の僧は
麗しき姫を抱きて
井戸に沈みぬ
あわれども
泣くべき戀に
古井戸の二人が魂
咲き出でゝ
此の愛し墨染櫻
君見ずや
此の幹は
彼の僧が姫を抱く
腕にも似て
面伏せる優しき枝は
彼の姫の面影
春四月
たをやけき此の木其の枝
靜かにも花の開けば
何故か
我は涙流るる
語り終へて其の友は
春惜しき花を浴びつつ
我を見て泣きにき

×

業終へて學び家去りぬ
友も我れも
年をへて
其の上の我が學び家に
走り事競技するとて
幼き妹ともなひ

一日を
門をくぐりぬ
紅白の幕引きめぐらし
砲の音 ピアノの響
乙女等は裾も現はに
ホワイトのコースを
走り 競ひぬ
眼やれば
あゝあわれ彼の日の夢の
墨染櫻
体育のかしましく
さけばるゝ現今
なだらける絹の芳草
我が寢たる後は無くて
絲の如 たれし小枝も
大方は
かり取られ 切り取られ
あるか無きかの……
乙女等は
あわれにも取りのこされし
彼の幹のまはり
微笑みつゝも駈り競ひぬ
頼り無氣の
わびし氣の
墨染櫻
幹にもたれ
悲しくも古の
戀物語り
語りし人も
今は何處に。

潮聲句會（第五十七回集）

○加藤江亭子追悼句集

ほとゝぎす宵の明星消ゑにけり　渡邊武門
ほとゝぎす流星墜ちし杉木並
落椿湖の蒼さに沈みをり　阿部芳月
切抓の藤束の間に枯落ちし
梅雨空に月覆はれてしまひ鳬　伊東眞砂常
思ひ出の一つ一つや花柘榴　大方竹羊
またたくに春を通りしうつろ哉　青山城月
五月闇またも涙をあらたにす　赤羽松堂
奈武すれそかくも果敢なき夏の露
俤を偲ふ間とても明易き

晴耕雨讀

さゝきあきら

(12) 勿來

德富蘆花は又みゝずのたはごとに勿來の紀行文がある、之も關寛翁訪問の途上である
…日ハ風雨でとまつた東北線が開通したと聞いて明治四十三年九月七日の朝、上野から海岸線の汽車に乘つた。三時過ぎ關本驛で下り車で平潟へ。平潟は名だたる漁場である、潟の南方を一町か當面の出島をかけてずらり足抗を見せた棧橋が見ものだ。雨あがりの漁場唯もう腥い、靜海亭に荷物を下ろすと、宿の下駄傘を借り、車で勿來の關址見物に出かける町はづれの隧道を、常磐から入つて磐城に出た。大波小波粒々と打寄する淋しい濱街道を少し往つて、とある茶店で車を下りた。奈古曾の石碑の刷物、松や貝の化石、書はがきなど賣つて居る。車夫に鶴子を負つてもらひ、余等は滑る足元に、氣をつけ／＼鐵道線路を踏切つて山田の畔を關址の方へと上る。

拈華微笑

黒ダイア時代再建。ボーナス直後に矢繼早の快報は素晴らしい
◇
減らすに困るは泥棒と洪水位のものだ。送炭增なんて結構／＼
◇
萩原夫人体刑を免かる。長鞭馬腹に及ばざる名判決
◇
女給のレビュー公開。髮の長いウオーターマン達喜ぶまい事か
◇
さあ之の天氣があがつたら暑いぞ。た互御用心

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

社會の今日

7月6日

△士分に閉門の仕置きを定む（寶永元）△露國廢帝銃殺さる（大正七）△民國の國都を南京と定む（昭和三）△平壤の暴徒鎭壓に軍隊出動す（同六）△内田康哉伯外務大臣に任せらる（同七）

○

山は尚築くべし、河は尚は穿つべし。高尚なる人物に至りては天與のたまものなり　樗牛

裸ながら汗にじむ日やくりやべの、水飲みにくる猫おひはらふ　荒井源司

講談 劍火無情

(58) 津屋義人作 菅野祐作畫

下館の奇禍（四）

堀口甚五右衛門が、上州屋一家の手先、約三十人を以て、結城の玉五郎唯一人に向つたのだ。

出羽山形無宿の林藏とは眞赤な嘘、之も上州屋身内で捕物の名人隼の三吉が博徒に化て、旅人となつて、龍ヶ崎岩太郎の女房お虎の前へ『仁義』を列べて、巧に入込んだものであつた。

三吉か渾名の隼の如く、玉五郎の長脇差を奪つた爲、煙管一本に身を護らねばならなくなつた玉五郎。岩太郎はお虎の機轉で、長ドスを窃に與へられた爲、力士龍ヶ崎であつた時の、滿身の力を虎徹の一刀に罩めて捕方に向つた。

『結城の乾兒金助は召捕ました』

甚五右衛門に三吉が報告した。そして又暫らくすると三吉。

『龍ヶ崎の女房、並びに一家の者七人、唯今召捕ました』

此處を先途と戰ふ中にもそれと聞いた岩太郎

『太え奴は林藏、己れ生かしや置けねえ』

群がつて來る捕方を既に三人まで斬倒した岩太郎は三吉の意氣揚々と手柄顏してゐる前へ躍り出て無言で斬り懸つた。

隼の三吉が得意で用ゆる鋼鐵の鞭、斬込む太刀を受けて泣らせて一鞭敵を打つと、其痛みは切り疵に倍した痛さ、今日まで此鞭で何人の强賊を捕へたか知れぬと自慢の鐵鞭

『御用だ、岩太郎神妙に致せ』

ピシーリ打込むを体をヒネつた岩太郎

『苦楚をくらへ、木ッ葉手先め、手前達の繩に罹る岩太郎ちやねゑ』

『ソレッ、隼を打たすな』

甚五右衛門の指揮に七八人は又岩太郎の方へ十手を打込む

玉五郎は千葉周作の高足江戸神田お玉ヶ池の道場で町人ながらも特に周作の見込んで敎ゑた秘藏弟子、湯島天神下の喧嘩に多くの人を害めた爲、破門となつて郷里へ歸つた程の腕前、煙管一本に十人の打込む十手と爭つて寸分の隙も見せず唯乾兒岩太郎に迷惑をかけまいと努めた

けれども岩太郎が既に數人を斬つたのを見ては、到底彼も免れぬ同罪、切めては今召捕られたと聞いた妻たけなと、逃がしてやりたいと彼の特質である俠氣はムラ／＼と起つた

けれども煙管一本では攻防思ふに任せず、柄物欲しやに見廻した

甚五右衛門は、別働隊としての十人に突棒刺又、袖搦みを持たせで岩太郎方の家の表に向せた。

『目指すは玉五郎一人であるぞ。玉五郎を召捕れッ』

左右から夫等の長柄を突出した得たりと玉五郎は突出す刺又を引攔んでダイと手許へ引く

引かれて『アッ』と前へよろめくを再びグイと突戻した、己が力に己れが負けて捕方は刺又を手放し、後へにどうと倒れた

『さア來い蛆虫奴等』

逆に取つた刺又重い柄の方を以て敵中に躍り込んだ

バッタ／＼と右へ左へ三人五人は瞬く間に倒された

甚五右衛門は第二段の策を逆用されて、捕方を損う事數知れず、己が身も危うくなつて來た

別働隊も譯なく十人倒された。他の三十人の内五人は岩太郎に斬倒され、殘る二十五人は長柄を振廻す玉五郎に近寄る事が出來なかつた

岩太郎は大音に呼ばゝつた

『親分、間者の林藏めは叩ッ斬りやした、俺の迂濶から飛んだ野郎を客分にして親分に迷惑かけて濟まねえ此場は引受けたから、早く立退いてお吳んなせえ』

『志は忝けねえが、斯んな騷ぎを仕出來しちやア、到底此儘立ち去れねえ。おれよりは手前の身だ、お虎を救ひ出して一先づ夫婦立退いてくれ』

親分子分が互に其身を思ひ合ふ眞情美しいものであつた。

大塚の夏期……特賣

謝恩の爲七月十五日迄で全商品一圓以上一割引

◎自製靴 船來防水白靴 五、〇〇
◎運動具 各種全般
○運動服裝類……
絶好の御買ひ時……！

平町田町 大塚 製靴部 運動具部 電話七七番

外科全般 内科 小兒科
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
渡部外科（入院應需）

氷水開始

みつ豆。ミルクセーキ。アイスクリーム。アヅキアイス。氷水各種。カルピス。

電力應用……出前迅速

藤市氷水店 二丁目 電話三〇五番

平町田町
高久病院（電話五三一番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹猪雄
内科 外科 小兒科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

入院隨意（自炊の便あり）
外科専門 X光線科
平町南町
上田醫院（電話一二九）
病室完備

新舞子初音分店
並通晝食一人前 金三十五錢より
宴會の節は特に御相談に應じます。
申込の節は
田町 初音 電話二三六番

吸入用酸素
度量衡
モノサシ マス ハカリ
計量器
体温器 寒暖計
◎秤ノ取り 緒・垂 糸・修 覆致シマス
關内藥局 電話四〇番

電話新設

六九五番 福島縣平町白銀町六番地 生花商 花友 八田與市

六九六番 平新川町 石川屋青果店

此程電話新設致しました。どうぞ御利用下さい

六九七番 内郷村小島 薄硝子壜製造所 薄源次郎

六九八番 森下陶土器工業所 胡摩澤

六九九番 平町一丁目 濟命堂 水野藥局

石炭の需要は當分增す一方

黒ダイア時代再建

來月末から再た增産

常磐各炭鑛山元發送高が過般來屢報の如く需要薄の夏枯れ季にあるまじき增加の一途を辿り減退期の中心に在る去月中に於て尚ほ一日千噸近の凄まじい飛躍的增送が行はれた程であるが、右は非常時局下にあるわが産業界が軍需品關係事業を中心として活況を續けその燃料としての石炭消費高も異常なる增勢をたどつてゐる關係で全國石炭供給の鍵を握る昭和石炭會社の調査によると七年度の石炭需給實績は需要高二千八百四十八萬四千噸に對して供給高が二千九百八萬一千噸と著しく好化を示してゐる、なほ本年度の需給を豫想すれば需要が三千百十五萬噸に增加するに對して供給は過般の百萬噸增送を加へても、なほ三千十三萬二千噸に過ぎないのでこゝに當然更に百萬噸の不足を來たすこととなる、從つて結局來月末には第二次百萬噸增送が決議されるらしくその好影響は必然的に常磐地方にも波及し發送量の增大は當分持續される形勢に在る

東伏見宮大妃殿下に本郡産のメロン献上

本日午後無事御通過

東伏見宮大妃殿下には既報の如く今五日午後零時五十六分着、同一時二分發上り列車にて各官衙學校主腦、各團体代表、學校生徒其他多數御迎送裡に平驛を御通過遊ばされたが殿下には御機嫌も御晴々と其筋より献上に係る縣農事試驗場石城分場栽培のメロンを御嘉納遊ばされたと

濱三郡教員野球大會

來九日參加十二校の爭覇

縣体育協會石城支會主催の濱三郡敎員野球大會は愈々來る九日の日曜をトし平第一、平商、第三の三球場で催されるが參加は左記十二校で第一回の四倉、第二回の勿來の外好間、泉、第一の各校が優勝校と目され、尚磐中、平商の初參加を見たので相當激戰を豫想されてゐる

磐中、平商、第一、第二好間、勿來、內郷、四倉久の濱、泉、湯本、草野

磐炭運輸派出捷つ 湯本小學校職員對磐炭運輸派出軍の野球戰は四日午後三時から湯本校々庭に於て四時から湯本校々庭に於て古山兩氏審判の下に開催日暮のため五回で中止したが九A四で磐炭優勢であつた、メンバー戰績左の如し

運輸
中明木澤井敬野森木
佐々　佐
田比佐中國比草三高
123投捕左中右遊
部崎達沼林野妻口山
岡山伊鵜小小新關秋
敎員

	一	二	三	四	五
敎員	0	1	1	1	1
運輸	0	0	3	6	A

9A—4

。。。。。磐中平商職員　今五日午後三時から磐中グラウンドに於て擧行した

縣下大會の切迫に必勝を期す平商

陣容固め猛練習開始

縣下中等學校體育大會は既報の如く來る廿三日より三日間福商グラウンドで催される野球大會を皮切りに八月一日—競技大會（相中）庭球大會（會津工）武道（安達中）の順で參加二十餘校が炎熱の下に物凄い爭覇戰が展開されるが平商競技部では今回が處女出場なので過般來矢野敎諭指導の下に左の如きメンバーで猛練習を續けて居るが進境目覺しく矢野校長も大いに期待をかけ激勵して居る

（五年）齋藤三男、佐々木通典、柚木秀雄、三部三幹、四家榮、鈴木利治（四年）澤田良彥（三年）阿久津勳、白土敏（一年）蒲田力之助

職業紹介成績良好

求人求職共增加

平職業紹介所去月中の取扱成績は

求人男九七　女二七　計一二四　求職男一〇六　女一七　計一二三　就職男八〇　女八　計八八

で前月に比し求人二十八、求職四の增昨年同期に比し求人二十八、求職五の何れも增である

。。。。。第一校批評會　平第一校では今五日午後二時から去る二十九日より二日間行はれた体操演習會の批評會を催した

左側通行宣傳　平第一校高等科生は今五日午前十時から各組に分れ交通頻繁な街路の左側通行宣傳に努めた

婦人少年深夜業禁止打合

各炭鑛首腦者出仙

磐炭管原所長小島勞務課長入山大胥副所長、小山田人事係長、古河下野所長、前松人事係長の一行は今五日仙臺鑛山監督局に於て婦人少年勞働者深夜業禁止問題に關し打合せの上明六日夜歸山すると

若松技師歸省　湯本町磐中出身北大農學士現南洋廳技師若松貞二氏は目下休暇を得て歸省中なので同氏歡迎の植民地問題批判座談會を四日午後七時から同町山形屋に開催出席多數盛會であつた

。。。。。第三校演奏會　二十七日午前八時から同講堂に開催すると

町匡救事業就役者今日から登録開始

去年の三百名を突破か

工費九千八百圓の本年度匡救事業として着工する平町の搔槌小路—第二小學校間、仲間町—鎌之内橋間の道路改修工事は今五日から。二萬二千圓の國道側溝工事は今月中旬から着工する運となつたので平職業紹介所では今五日から四日間の豫定で使用勞働者の登録を開始したが農繁期も一段落を告げた折柄とて第一日目の今五日は午前中老若男女を合せて五十餘名に達し昨年の二百九十六名より增加するものと見られて居る

排水溝着工

地元の寄附が纏らず着工が遲れて居た平町田町から一

吉田禮次郎さん

◇追憶斷片 H

赤井嶽男

大正十一年霜月下旬、それは縣稅戸數割決定町會の開かる直前の事である。賦課決定のまさか方針でもなかつたらうが。——小部の俸給によつて衣食する所謂勤勞所得者に對し其れに數倍する見立割を擬し、反對に幾多他の寛恕を許さぬ利得あるべき資産所得に對し極めて少許の見立割をなしたる實例が少からざるやの形跡がある

○

殊に有り得べからざる奇怪事として看過し得ざるは今春曾て左右の異議を申し出た平驛方面の納稅者に對し或種の手加減を試み、其間何らか備ふる處ありたるやの風評あるが如き、右にして不幸事實であるなれば所得を隱匿して虚僞の申告をなし或はその課稅の過重を訴へて當局に迫る者のみ比較的有利の地位に置かれ之等稅金の逋脫を圖る不逞輩の負擔分を轉嫁さるゝ正義の士のみ著しく不利益の結果を見る事となつて所謂免れて恥無きものの在々乎として出るが如き奇異而して不祥なる現象を見るであらう——と云つた樣な譯で之に當面する三十町議の態度には負擔の過重を厭ふ全町民を驅つて多大の關心を拂はしめた

○

恁うした黴梅で最初から極めて險惡な空氣を孕んだ戸數割決定町會は十一月二十五日開會されたが同日正午委員附託となり以來六日間引續き審議を續けた。當時委員の一人であつた吉田さんは殆ど寢食を忘れて搜括討撫自ら具さに原簿の調査を行ひ、その見立算定額の如何にも根據薄弱にして略ね無産勤勞所得者に寛く資産階級に嚴い傾向あるを看て取り、斯くの如きは旋て或種の面白からぬ思想を誘發する虞無きに非ずとして之れが算定に就き氏一流の熱情を以て『果して當局に確信ありや』と肉薄した

○

曖昧摸糊として敢て捕捉する處無き當局の態度に委員連も呆然たらざるを得なかつた、さりとて當局の調査に對して根本的に朱黄を加ふる勇氣に欠けて居た事は勿論で結局他の二十九議員と吉田さん一議員とはユークリッド幾何學に於ける相並行せる二直線として進まねばならぬ形ちとなり、他の委員は半ば捨て鉢氣分（?）で之れが全部の調査を擧げて吉田さん一人の手に一任した。其れが本會議前々日、五日間に限られた委員會の第四日目即ち廣汎な全部の檢覈に剩す處僅かに一日と云ふ切端詰つたその日である。（つゞく）

農繁明けの失業者救濟

目下工事中の本年度匡救事業は江名中之作、豐間、植田町小濱の三港灣と湯本、入遠野、勿來の道路のみで農繁期が一段落を告げ失業者が激增したので平土木監督所では失業者匡濟の意味から未着手町村に對し今五日直に着工する樣に通知を發した

無競爭の勿來町

昨日郡下の選擧閉幕

郡下の殿りである勿來町の町議改選は昨四日無競爭裡に執行したが辭退した横山太一氏にも三十二票の投票があつた當選者左の如し

一一三下山田甚次兵衛（新）一〇三鳴澤留太郎（新）八一靑天目信治郎（再）八〇中野新藏（再）七九渡邊梅吉郎（再）七八藺部里治（新）七八赤津修一（再）七七平川昇（新）七四小松章（再）七〇大平睦四郎（再）六七兒玉武助（新）六六安島久（再）六三大平藤太（新）五六北郷廣作（新）五五小野富次（新）五三兒玉富八（再）五二赤津壽平（新）五二荒川又助（再）

十六名に罰金刑

磐崎の選擧違反へ判決

磐崎村會議員吉田直文氏の選擧違反關係者御代德治外十五名は今五日平區竹內判事より左の如く略式罰金を言渡されたが德治、庄太郎は共謀の上各被告に一圓乃至一圓五十錢を供與したものであると

罰金百圓—酒造業御代德次（三五）五十圓—農岩並庄太郎（三五）二十圓—農鈴木茂彌（五八）同長松（六四）同伴佐（三九）同孝平（三七）同治太郎（六二）西郷太次郎（四八）御代權次郎（七四）同孝保（五六）同正雄（三八）同守衛（三七）太平發吉（三三）同保平（三七）箱崎卯之松（四六）佐藤運吉（六二）

平町の兩名何れも罰金

萩原縣議夫人中澤鐵道書記に對する選擧違反の公判は今五日午前九時から平區に於て中島裁判長係り、三堀檢事關與、門傳、武田兩辯護人列席の下に開廷左の如く言渡された

（括弧內は求刑）

罰金百五十圓（禁錮二ヶ月）　萩原たけの

同百二十圓、追徵金九十一圓（禁錮三ヶ月、追徵金百三十圓）　中澤光彌

平商虚弱兒

全校に十一名

平商校では此程の身体檢査の結果標準体重不足者が一年四名、二年一名、三年三名、四年三名計十一名（三パーセント）あつたので各擔任敎諭から訓示、尚矢野校長からも各家庭に注意を促した

ラヂオの無いのは荷路夫鹿島村二村丈け

平町の正式聽取者四百五十

ラヂオの施設は單なる娛樂施設と內容を異にし日常生活の糧を得る機關と云ふ見地から最近著しく大衆化し平町丈けでも四百五十を算し、今や東北六縣千二百五十六村中その施設を見ぬは僅に六十九村に過ぎぬ有樣で本郡では四十ヶ町村中荷路夫鹿島の二村のみである

ラヂオ診査　今月中郡下のラヂオ診査日割次の如し

二十四日—植田町（郵便局長宅）二十五日—江名町（漁業組合事務所）二十六、七日—內郷村（磐炭役員クラブ）二十八、九日—好間村（猪狩尚一氏宅）

逐年の兒童增加に湯本校增築計劃

來町會に提案されん

湯本町小學校は炭礦の發展其他により逐年兒童數を增し現在千八百名（二十七學級）を有し別に炭鑛地帶の兒童を收容する入山尋常小の併置あるも尚ほ更に增加の一途を辿りつつあるので曩に小泉前町長時代より一棟增築の必要を叫ばれ當時縣に申請したが却下されたので其のまま今日に至つたが最近愈々之を即行せねばならなくなつたので該問題が再燃し工費一萬五千餘圓を投じ近く着工を計劃され來る町會に提案されるらしく成り行きを刮目されてゐる

。。。。。第二區音樂會　第二區湯本方部、磐崎三校、湯本二校渡邊校、計六校聯合の音樂會は八日午前九時から湯本新校講堂に於て開催する

築港疑獄に檢事控訴

成り行き刮目さる

去る三十日懲役一年執行猶豫三ヶ年、追徵金二千三百六圓四十八錢を言ひ渡された元小名濱築港內務省技師樗木篤夫氏に對し小林檢事は今五日控訴の手續きをとつたが地方を飛耳張目せしめた大事件だけに成行きを刮目されて居る

。。。。。湯本靑訓行軍　湯本靑訓生徒比佐主事以下九十二人は來る二十二日小名濱豐間方面へ耐熱行軍を決行すると

。。。。。記念椅子寄贈　勿來町前町會議員十八名は任期滿了記念として此程役場に町長用の廻轉椅子を寄贈した

川前駒羅況　川前村二才駒羅は昨四日から三日間開備中だが第一日目の成績は出馬頭數四十二、總賣上二、四六二圓、最高九〇圓、最均三九圓　平均五八、六二錢で相當な高値を呼んで居る

。。。。。平商校園美化　平商校では創立二十週年記念事業として同校中に約三坪の池を設け近く放魚する事になつたが尚全校學年別にその周圍を分擔植樹その他極力美化に努める事になつた

準備萬端を整へ照りを待つ各濱

水の世界漸く迫る

この天候があがると愈々灼熱の夏だ、郡下各濱では浴客吸收に目下大童となつて居る

新舞子　靑松白砂の附近一帶をキャンプアーに開放する同所では自動車の通ずる迄に道路を改修し無料脫衣場の新設、飲食物の料金協定等で來遊者に不快の念を與へぬやう寫眞入りチラシ、ポスターを各方面に配布して宣傳

四倉　無料脫衣場、娛樂機關の設備。飲食物、旅館宿泊料、貸間料金協定。消防組、青年團、警察署の海上警戒等大体例年通り

小名濱　中小學校、男女青年團其他團体の爲小學校、寺院開放夏季講習會、其他大体四倉同樣

其他豐間、江名町中之作、植田町小濱等でも夫々適當な設備をなし宣傳に努めて居る

。。。。。校長昇任祝賀　湯本町有志青年團敎育關係者は此程奏任官八等を以て待遇さるる事となつた同校長篠原保治氏の爲近く祝賀會を開き記念品を贈呈すると

。。。。。亡友の爲醵金　平驛運結手神谷村鈴木道雄君は一月以來病氣療養中今五日午前四時遂に逝去したが同君は九歲を頭に四人の幼兒を殘し家計至つて困難なので同僚が目下見舞金を募つてゐる

磐新誤叱府

第三校の月次球技會は二十四日同校庭に開催されるがその主旨に曰く。——本球技會は本校兒童をして身心を鍛練し諸能力を高め自由なる意志と快活なる精神を及び忍耐、公正、果斷、犧牲等の德性を涵養し特に團体的活動に依りて共存共榮、共同一致社會的精神を育成するにあり。云々まさに此種趣意書のホームランである。

舊五月十四日　新七月六日　木曜　癸酉　赤口　平　斗宿

評判定應需　東京市本鄕區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　不慮の災厄を招き易し共同事業關係注意▲二黑の人　運氣佳なれど融和を欠けば人の爲に陷る▲三碧の人　勢に乘ぜざれば一家は平安なれど病厄注意▲四綠の人　手の伸ぶる所足の達する所思ひ通りなる日▲五黃の人　天與の幸運も分別を欠けば取逃すことあり▲六白の人　實功現はれざるも婦人の力にて良轉すべし▲七赤の人　意氣消沈して萬事不如意に滿たさる、不快日▲八白の人　疑惑に閉され進退に迷ふも信ずる所に進め▲九紫の人　焦心短慮にて事物に間違を生じ易し愼重肯

星製藥株式會社債權者チエーン大會　福島宮城茨城各縣

今回は強制和議の再決議ご本社大更生の重要大會でありまして星社長と星製藥強制和議期成同盟より頭山滿內田良平、杉山茂丸三先生の代表ごして八幡博堂氏が出席致しますから萬障御繰合せ御出席の程を紙上を以て御願申上げます。

場所　平町マルトモホール
日時　七月十日午前十時開會午後四時閉會

東京　星製藥株式會社
任務斷行期成團

近日中開業
耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前

齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

內臟外科　外科一般　花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院